

大西 陸さん

Riku Onishi (下林)

第80回県高等学校総合体育大会
陸上競技対校選手権大会

やり投 男子 1位

キラリ東温この人なう No.139

地域で輝く人にインタビュー

「やり投は天職」。笑顔でそう話すのは、県立松山北高等学校陸上部3年生の大西陸さんだ。6月の県高校総体のやり投種目で63・11mを記録し、1位に輝いた。「自己新記録で嬉しい気持ちではありますが、『もつといける』という感覚はあります。インターハイをかけた四国総体では65mが目標です」と、全国の舞台へ向けて意気込みを見せる。

陸上を始めたのは中学生の頃。高跳びや四種競技(110mハードル、砲丸投、走高跳、400m)をしていたが、当時は思うような結果を出せなかったという。その後高校に入り、ハンドボール投げの記録が良かったことから顧問の先生にやり投げを勧められた。これを転機に才能を開花させ、高校2年生の頃には四国総体で優勝し、インターハイ出場を果たした。「試合のときは緊張しますが、今までやってきた自分を見失わず、地に足をつけて、意識することを極限まで減らして競技しています。10月まで部活を続けるので、高校生のうちに70mを超えるのが目標です」と、自信に満ちた表情で語る。更なる進化から目が離せない。(取材日:6月10日(水))

編集後記

世界一に輝いた八木選手取材する中で、本人を始め、これまで指導に当たってこられた多くの人たちから貴重なお話を伺いすることができました。トップの日本代表で、世界一を目指す挑戦を応援したいと思います。(戒能)

1年ぶりにバレーボール大会を取材。試合も応援もとても盛り上がっていて、チームスポーツっていいなあと改めて感じました。そして皆さん流石の上手さ。特にツインドーム重信会場のボールの威力、凄まじかったです。(川村)

有料広告

出張撮影 “じゃむじー” です
ニューボーンフォト撮影しませんか?

▶ 20コマ
▶ 11,000円
▶ データお渡し

instagram
jamzy2025

お問い合わせ・ご予約はこちら
お気軽にお電話ください 0120-427-359